

平成30年度くまもと県民カレッジ主催講座【後期】

交通問題コース

行きたいときに、行きたい場所へ
～切っても切れないくらしと交通～

2018年10月19日～12月21日に、
5回にわたって、人と車の歴史
を振り返るとともに未来を予測
し、くらしと交通のよりよいあ
り方について考えました。



第1回

交通の歴史
～車を変えた人々の暮らし～

学校法人九州総合学院
九州工科自動車専門学校
上妻 史彦先生 (左)
中山 恵晴先生 (右)

自動車の誕生、日本の自動車の歴史、道路整備や環境問題、そして自動車の未来について学びました。



第2回

交通事情と交通事故の変化
～高齢者の事故が増えてます～

熊本県警察本部 交通企画課部
三次 和昭先生

交通死亡事故の現況、高齢運転者による死亡事故の特徴や要因、高齢運転者が安心して運転を続けるためにはどうすればいいのか学びました。



第3回

とっさの反応、大丈夫!
～私の決断、免許証返納という選択～

熊本県警察本部 交通企画課部
三次 和昭先生
ひまわり隊の皆さん

俊感性測定器で俊感性年齢の測定や歩行環境シミュレーターで現実に近いリアルな横断を体験しました。



▼俊感性測定器の体験の様子。
「測定結果が実年齢より若かった」と喜ぶ受講生も見られました。



▼歩行環境シミュレーターの体験の様子。雨の日、夕方など、さまざまなシチュエーションで体験。



第4回

究極の安全性を目指します
～日々進化する車の技術～

日産自動車株式会社
日本戦略企画本部 日本商品企画部
豊嶋 浩先生

交通事故とその対策の歴史について振り返りや究極の安全性を目指す取り組み事例などを学びました。



第5回

近未来の交通サービス
～車がなくても生活できる移動サービスの提供～

熊本大学大学院 先端科学研究部
溝上 章志先生

カーシェアリングサービスの利用実態、無人の車がユーザーのもとまで迎えに来る完全自動運転シェアリングサービスなど、近未来のサービスについて学びました。



受講生の感想

- ・交通に関連する身体テストや交差点横断の模擬テストは興味深く、このような機会をまた設けて頂きたいと思いました。
- ・運転に関しては少し判断力が落ちたとは感じていたが、反応テストで、予想に反して、年相応との結果となり改めて車の運転がより慎重になりました。
- ・過去から現在、未来にかけて車社会の変化について学びましたが、これからどのように変わっていくのか、現在の研究が実現していくのかが楽しみと同時に課題も多いのではないかと感じました。